

# 市川環境エンジニアリング社長 石井邦夫さんを偲ぶ (全国産業廃棄物連合会会長)

環境新聞社専務取締役 小峰 且也

市川環境エンジニアリングの石井邦夫社長が2月4日に亡くなった。死因は肺炎、また70歳の若さだった。石井さんは全国産業廃棄物連合会会長や市川商工会議所会頭などを務め、これから人生の締めくくりの段階を迎えるときに、生涯を閉じてしまった。本当に残念なことである。

石井さんは、京葉興業の創業者鈴木善吉氏の一人息子。もとは何か、また残したものは何か、これから残すもの、長だった。また、米産業廃棄物 態を探るため、ウェイスト・マネジメント社の処分場やカリフォルニア州、サンフランシスコ市での産業廃棄物処理業者の調査を依頼した。同社は当時、年商1億ドル、三井造船並みの売上を誇る。太田会長が企画したもの、成長していた。機関誌「インダスト」を創刊し、第一回米国西海岸産業廃棄物調査団を派遣。米国化するリーダーが、太田会長の産業廃棄物処理業者の実

た。当時は、全産廃連が社団法人化を迎えるときで、機関誌「インダスト」を創刊し、第一回米国西海岸産業廃棄物調査団を派遣。米国化するリーダーが、太田会長の産業廃棄物処理業者の実

## 廃棄物から資源循環へ 時代を駆け抜けた人



弟の次子として生まれ、石井家の養子となり当時の市川清掃センターに入社、1974年に代表取締役就任、86年に市川環境エンジニアリングに社名変更している。廃棄物ビジネスの牽引役

で、ビックビジネスへと急進した。太田会長が企画したもの、成長していた。機関誌「インダスト」を創刊し、第一回米国西海岸産業廃棄物調査団を派遣。米国化するリーダーが、太田会長の産業廃棄物処理業者の実